



## 2019年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年4月12日

上場会社名 住江織物株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3501 URL http://suminoe.jp/  
 代表者(役職名) 取締役会長兼社長 (氏名) 吉川 一三  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営企画室部長 (氏名) 永田 鉄平 (TEL) 06-6251-6803  
 四半期報告書提出予定日 2019年4月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年5月期第3四半期の連結業績(2018年6月1日~2019年2月28日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期第3四半期	73,734	0.5	2,001	11.4	1,804	△8.2	241	△68.5
2018年5月期第3四半期	73,333	3.2	1,796	392.0	1,965	306.4	769	—

(注) 包括利益 2019年5月期第3四半期 △11百万円(—%) 2018年5月期第3四半期 2,258百万円(84.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期第3四半期	33.45	—
2018年5月期第3四半期	101.98	—

※当社は2017年12月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年5月期第3四半期	91,802	35,838	33.9
2018年5月期	92,181	38,541	36.9

(参考) 自己資本 2019年5月期第3四半期 31,091百万円 2018年5月期 34,057百万円

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年5月期の連結財政状態については、遡及適用後の数値を記載しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年5月期	—	3.50	—	35.00	—
2019年5月期	—	35.00	—	—	—
2019年5月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は2017年12月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、2018年5月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の2018年5月期の期末配当金は3円50銭となり、1株当たり年間配当金は7円となります。

## 3. 2019年5月期の連結業績予想(2018年6月1日~2019年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	98,500	0.6	3,100	37.9	2,900	22.9	1,100	1.5	152.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年5月期3Q	7,682,162株	2018年5月期	7,682,162株
② 期末自己株式数	2019年5月期3Q	785,083株	2018年5月期	139,368株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年5月期3Q	7,233,206株	2018年5月期3Q	7,543,445株

※当社は2017年12月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予測値と異なる可能性があります。

(日付の表示方法の変更)

「2019年5月期 第1四半期決算短信」より、日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(会計方針の変更)	P. 8
(追加情報)	P. 8
(セグメント情報)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態に関する説明については、当該会計基準等を遡及適用後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期におけるわが国経済は、企業収益および雇用、所得環境の改善により緩やかな景気回復が続きました。海外においては、米中貿易摩擦や中国の景気減速への懸念等から、先行きに対する警戒感が高まりました。

このようななか、第5次中期3ヵ年経営計画「2020」の2年目である当期の第3四半期における連結業績は、売上高737億34百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益20億1百万円（同11.4%増）、経常利益18億4百万円（同8.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に計上した投資有価証券売却益がなくなったこと等から2億41百万円（同68.5%減）となりました。

セグメントの業績については、次のとおりであります。

#### (インテリア事業)

業務用カーペットでは、インバウンド効果により、ホテルや商業施設向けの新築およびリニューアル案件の受注が好調となったものの、水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®（エコス）」の海外輸出が伸び悩み、国内市場でもオフィスビルの大型案件が少なかったこと等から、売上は前年同期並みとなりました。一般家庭向けカーペット、ラグ・マットでは、市場環境の低迷が続き、売上は前年同期を下回りました。カーテンでは、医療・福祉・教育施設向けのコントラクトカーテン「Face」は大型案件の受注により好調に推移し、2018年7月に発売した一般家庭向けカーテン「U Life®（ユーライフ） Vol.9」も前年同期の同シリーズ並みとなりましたが、「mode S®（モードエス） Vol.8」等が伸び悩み、売上は前年同期を下回りました。壁装関連では、リフォーム向けの壁紙「ルノンホーム」や2018年6月に発売した襖紙「ルノン 凜」第2集等が堅調に推移しましたが、量産タイプの壁紙「ルノン・マークII」が伸び悩み、売上は前年同期を下回りました。

以上の結果、インテリア事業では、売上高250億5百万円（前年同期比1.4%減）、営業損失1億17百万円（前年同期は営業利益48百万円）となりました。

#### (自動車・車両内装事業)

自動車関連全体では、売上、営業利益ともに前年同期を上回りました。国内では、前期に売上を伸ばした新規商材の販売拠点を海外に移したことが影響し、売上、営業利益ともに前年同期に届きませんでした。一方、海外では、売上、営業利益ともに前年同期を上回りました。アジアでは、中国が堅調となり、北米では、米国子会社Suminoe Textile of America Corporationの収益改善が進み、また、メキシコは新規商材の受注により好調に推移しました。

車両関連全体では、売上は前年同期並みとなりましたが、営業利益は前年同期を下回りました。鉄道向けは、JRおよび私鉄の新車需要、補修需要ともに堅調に推移し、また、鉄道向けの安全対策商材の採用が増えたこと等から、売上は前年同期を上回りました。バス向けは、国内観光でのバス利用の回復が遅れていることから、新車およびリニューアル向けの内装材需要の減少が続いており、売上は前年同期を下回りました。航空機向けは、新たな商材の納入が一巡し、売上は前年同期並みとなりました。

以上の結果、自動車・車両内装事業では、売上高452億54百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益29億42百万円（同14.3%増）となりました。

（機能資材事業）

消臭・フィルター関連は、空気清浄機向け消臭フィルターが前年同期に届かなかったものの、新規受注を獲得したことと暖房機向け消臭フィルターが好調に推移したことから、増収増益となりました。ホットカーペットは受注数を伸ばし、建築・土木用資材およびブラシ用毛材「KEAT-貴糸®」も好調に推移したことから、増収増益となりました。浴室向け床材は前年同期並みとなったものの、ダストマット向けポリエステル長繊維「スミトロン®」および学童向けマットは振るわず減収減益となりました。

以上の結果、機能資材事業では、売上高33億69百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益1億95百万円（同3.9%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、投資有価証券の減少等により、前連結会計年度末に比べ3億78百万円減少し、918億2百万円となりました。

負債につきましては、長期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ23億24百万円増加し、559億64百万円となりました。

純資産につきましては、自己株式の取得等により、前連結会計年度末に比べ27億2百万円減少し、358億38百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月期の連結業績予想については、最近の業績動向を踏まえ、2018年7月13日に公表しました通期の業績予想を修正しております。

詳細については、本日（2019年4月12日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,531	8,691
受取手形及び売掛金	17,449	18,354
電子記録債権	5,607	6,512
商品及び製品	11,077	10,099
仕掛品	1,788	1,890
原材料及び貯蔵品	3,768	4,280
未収還付法人税等	125	155
その他	3,439	3,685
貸倒引当金	△17	△19
流動資産合計	52,770	53,650
固定資産		
有形固定資産		
土地	17,600	17,608
その他(純額)	9,537	9,363
有形固定資産合計	27,138	26,972
無形固定資産	1,085	1,275
投資その他の資産		
投資有価証券	8,984	7,538
繰延税金資産	1,136	1,287
その他	1,215	1,230
貸倒引当金	△148	△151
投資その他の資産合計	11,187	9,904
固定資産合計	39,411	38,152
資産合計	92,181	91,802

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,571	15,749
電子記録債務	4,783	4,306
短期借入金	13,588	13,070
未払法人税等	550	219
訴訟損失引当金	472	—
その他	3,906	3,485
流動負債合計	37,872	36,831
固定負債		
社債	500	1,500
長期借入金	5,308	7,682
繰延税金負債	547	594
役員退職慰労引当金	382	93
退職給付に係る負債	4,065	4,063
その他	4,963	5,198
固定負債合計	15,767	19,132
負債合計	53,639	55,964
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,652	2,652
利益剰余金	10,822	10,552
自己株式	△364	△2,273
株主資本合計	22,664	20,484
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,154	2,409
繰延ヘッジ損益	11	2
土地再評価差額金	7,797	7,797
為替換算調整勘定	600	543
退職給付に係る調整累計額	△170	△146
その他の包括利益累計額合計	11,393	10,606
非支配株主持分	4,484	4,747
純資産合計	38,541	35,838
負債純資産合計	92,181	91,802

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年6月1日 至2018年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2019年2月28日)
売上高	73,333	73,734
売上原価	58,568	58,696
売上総利益	14,764	15,038
販売費及び一般管理費	12,967	13,036
営業利益	1,796	2,001
営業外収益		
受取利息	7	9
受取配当金	121	125
持分法による投資利益	53	—
不動産賃貸料	175	185
その他	132	121
営業外収益合計	489	441
営業外費用		
支払利息	200	242
持分法による投資損失	—	44
為替差損	19	54
不動産賃貸費用	24	23
その他	77	271
営業外費用合計	321	638
経常利益	1,965	1,804
特別利益		
固定資産売却益	3	13
投資有価証券売却益	667	7
特別利益合計	671	21
特別損失		
固定資産除売却損	6	17
投資有価証券評価損	—	79
投資有価証券売却損	—	120
特別損失合計	6	217
税金等調整前四半期純利益	2,630	1,608
法人税、住民税及び事業税	886	649
法人税等調整額	319	148
法人税等合計	1,206	797
四半期純利益	1,424	810
非支配株主に帰属する四半期純利益	654	568
親会社株主に帰属する四半期純利益	769	241

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年6月1日 至2018年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2019年2月28日)
四半期純利益	1,424	810
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	613	△745
繰延ヘッジ損益	△26	3
為替換算調整勘定	224	△91
退職給付に係る調整額	24	24
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△12
その他の包括利益合計	833	△821
四半期包括利益	2,258	△11
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,525	△545
非支配株主に係る四半期包括利益	733	534

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2018年9月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式454,400株の取得を行っております。また、2019年1月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式190,900株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が1,909百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が2,273百万円となっております。

（会計方針の変更）

（税効果会計に係る会計基準の適用指針の適用）

「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日）を第1四半期連結会計期間から適用し、個別財務諸表における子会社株式等に係る将来加算一時差異の取り扱いを見直しております。なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

## (セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年6月1日 至 2018年2月28日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	25,349	44,748	3,131	73,229	103	73,333	—	73,333
セグメント間の内部 売上高又は振替高	489	7	3	499	138	638	△638	—
計	25,838	44,756	3,134	73,729	242	73,971	△638	73,333
セグメント利益	48	2,574	203	2,826	49	2,876	△1,079	1,796

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。

2 セグメント利益の調整額△1,079百万円には、セグメント間取引消去21百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,100百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	25,005	45,254	3,369	73,629	104	73,734	—	73,734
セグメント間の内部 売上高又は振替高	548	6	1	556	130	687	△687	—
計	25,553	45,260	3,371	74,186	235	74,421	△687	73,734
セグメント利益 又は損失(△)	△117	2,942	195	3,020	56	3,077	△1,075	2,001

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,075百万円には、セグメント間取引消去22百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,098百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。